

固定車用クランプ取付け方法

ご注意：折りたたみ式車いすに関しては別紙ご参照ください。

Youtubeで取り付け方をご紹介します
<https://youtu.be/oLjYpE0vv6Y>



クランプの取付け

スマートドライブ専用クランプは、固定車のアクスルチューブに継続的に取付けられるように設計されており、ドライブユニットの簡単な取り付け/取り外しを可能にします。

まず最初に、車いすの後輪サイズに基づいて適切なクランプを選択します。クランプの突起部に数字が記載されています（図A）。適切なクランプについては、下の表を参照してください。

選択チャート：

タイヤサイズ	選択クランプ
22"(501)	24/540と記載してあるものを選択
24"(540)	24/540と記載してあるものを選択
25"(559)	25/559と記載してあるものを選択
26"(590)	26/590と記載してあるものを選択

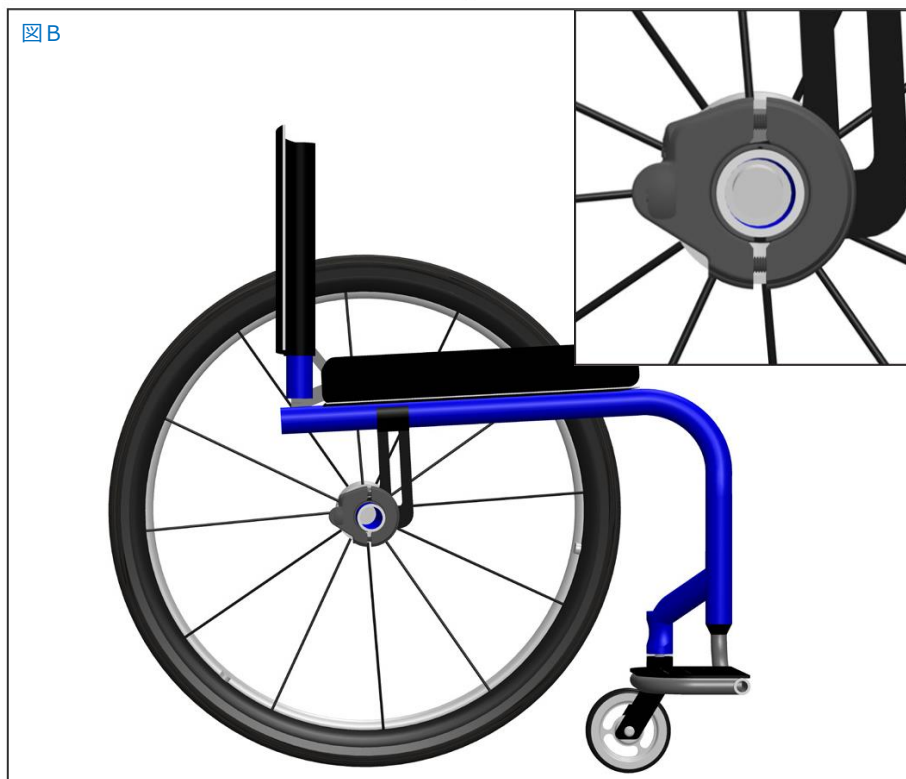
クランプは、スタンダードチューブ用[Φ1.4インチ（36mm）以下]と、ラージチューブ用[Φ1.5インチ（38mm）以上]の2種類のクランプがあります。付属の硬質ゴム製インサートをキャンバートューブとクランプの間に挿入します。インサートはキャンバートューブの径より小さなものを選択してください。（サイズ表は次頁の表を参照してください。）インサートの側面にあるドットの数を確認し、キャンバートューブと照らし合わせ、適切なサイズのインサートを選択してください。



図A

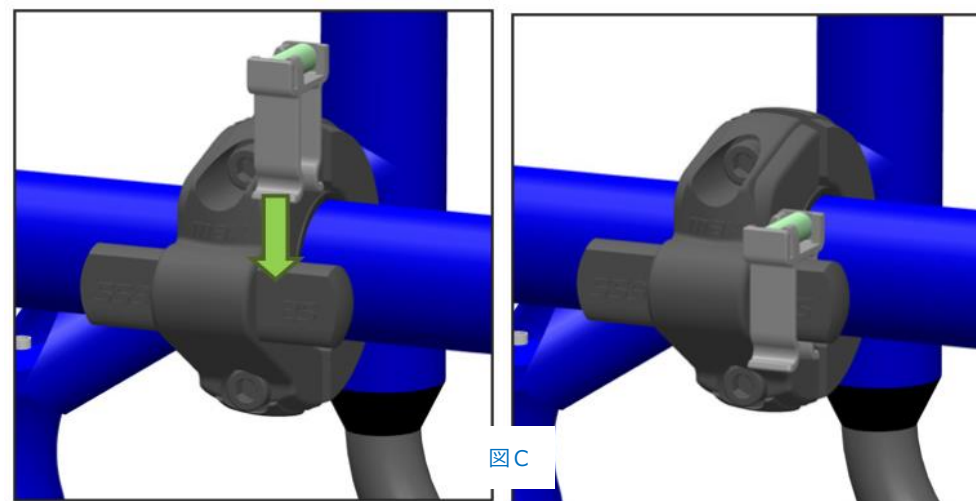
注意：ボルトを十分に締めても、クランプの前部と後部はくっつくことはありません。下の図（図B）のように、2つのパーツの間には隙間ができます。

ボルトを締めすぎると、取り付け中に部品が破損する可能性があります。トルクレンチを使用し、5.4N・mは超えないように取付けしてください。



図B

スタンダードクランプ用キャンバーチューブ径 適合表	
チューブ径	インサート
36mm	インサートなし
35mm	ドットなし
32mm	・
30mm	・・
25mm	・・・
ラージクランプ用キャンバーチューブ径 適合表	
50.8mm	ドットなし
45mm	・
38mm	・・



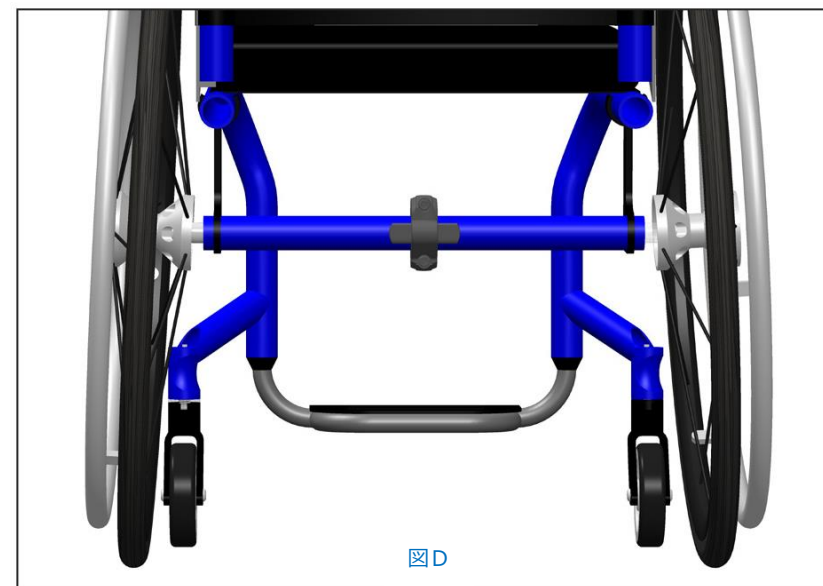
図C

5 mmの六角レンチを使用して2本のネジを締め、クランプをキャンバーチューブに取り付けます。以下に概説する位置と向きはスマートドライブの適切な機能にとって重要であり、注意する必要があります。

クランプの前面にある「MAX」が上に来ているか確認をしてください。付属の水平器を使用して、地面と水平になるように設定してください。（図C）クランプの側面にある突起部は、椅子が水平面上にあるときに、地面に垂直にならなければなりません。

付属の水平器を使って確認してください。

クランプは車いすの中心に取り付ける必要があります（図D）。クランプの上下にある2本のボルトを、5.4N・mまで締め付けて、位置と向きを固定してください。これを行わないと、車いすがまっすぐ走行せず、使用中にクランプが動き、スマートドライブが正常に機能しなくなる可能性があります。



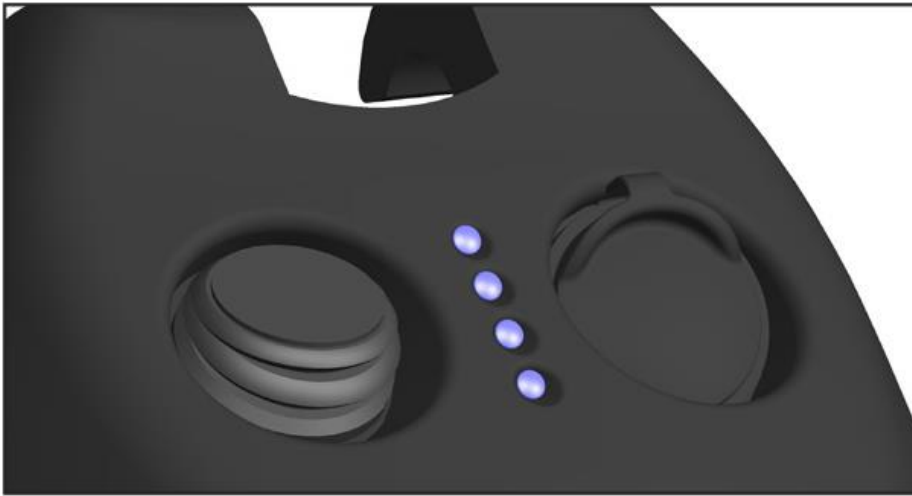
図D



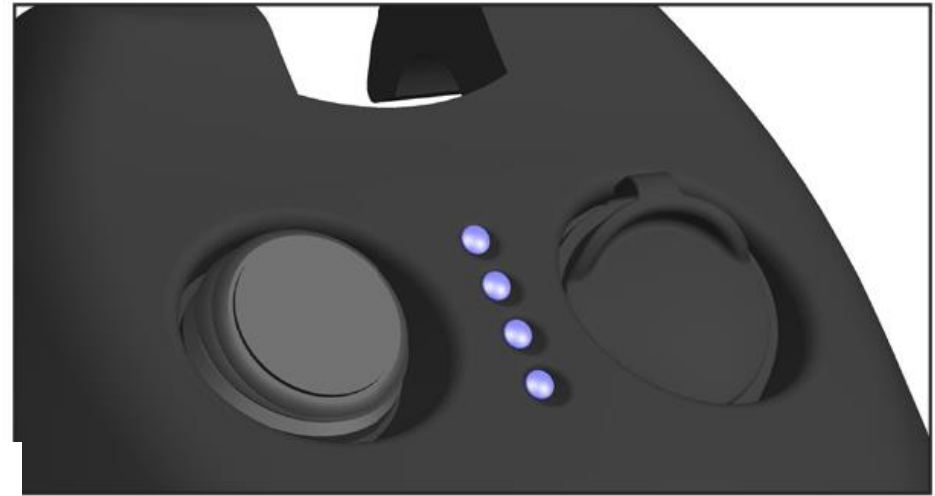
車いすの仕様を変更した場合、クランプの取付け角度が変わり、走行に影響を与える可能性があります。
車いすの仕様を変更した場合は必ずクランプも調整してください。

ドライブユニットの取付け

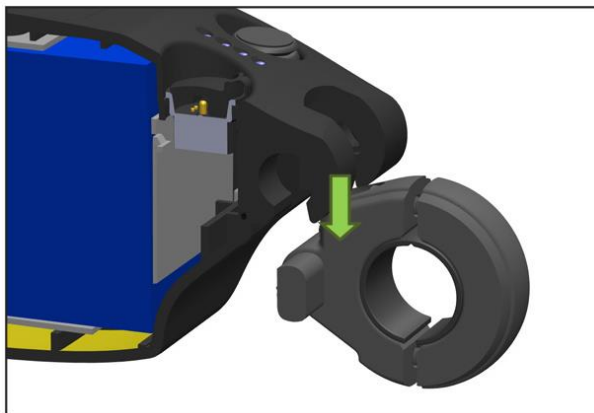
リストバンドのプッシュトラッカーの電源がオフになっていることを確認して、まずドライブユニットの電源を入れてから、クランプに取り付けてください。電源はトグルをドライブユニットの正面から押します（図E）。大きなビープ音が鳴り、青のLEDが点灯します。



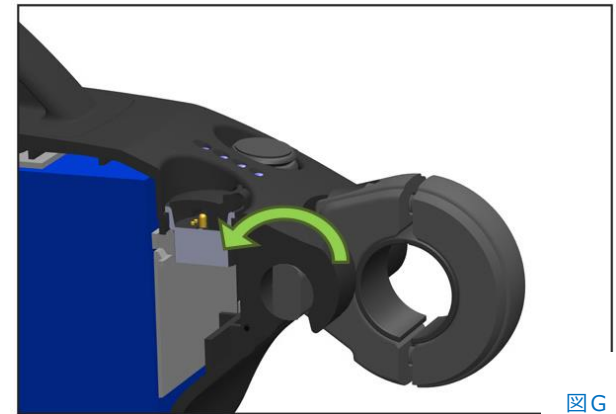
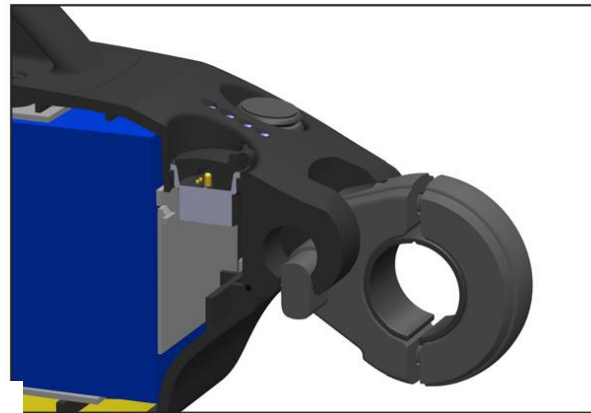
図E



1. ドライブユニットの取付けは、車いすに固定したクランプのクランプロッドにユニット本体の先端下部にあるレシービングスロットを合わせます。次に、ユニット本体のレシービングスロットをクランプロッドに入れ（図F）下方に回転させてドライブユニットをクランプに、装着します（図G）ドライブユニットの重さで、オムニホイールが地面に付き、さらに車輪の真ん中にあることを確認します（図H）



図F



図G



2. ボタンを購入した場合は、それぞれの取り付け手順を参照してください。ボタンのコードの先端をドライブユニット電源ボタンの横にあるユニットハウジングに差し込んで下さい。ハウジングは磁気コネクターになっています（図I）。



図I

